



◆ 学校教育目標 ◆

よく学び 心豊かで たくましい児童の育成

～目指す学校像～

- (1)子どもが主役である学校
- (2)信頼される学校
- (3)地域の中に生きる学校

～目指す児童像～

- (1)人の話をよく聞き、考え、進んで問題を解決する子ども
- (2)あいさつができ、思いやりと感謝の気持ちで協力できる子ども
- (3)心身を鍛え、最後までやり抜く子ども

～目指す教師像～

- (1)人と共に生きる教師
- (2)自ら参画する教師
- (3)自ら学ぶ教師

群馬県学校教育の指針

○たくましく生きる力をはぐくむ

学校経営・生徒指導

- ① ICTを活用した教育活動
～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- ② 「新しい生活様式」を踏まえた教育活動
- ③ 児童理解に基づく成長を促す指導

◇ 今年度の重点目標 ◇

一人一人の児童が活躍できる場と時間を確保した教育活動の実践

- ①学級を基盤とした、学び合う集団づくり
- ②児童の体験的な活動の場の確保と感染症対策の両立
- ③一人一台端末を効果的に活用した学びの推進
- ④一人一人の自己存在感・共感的な人間関係・自己決定の場面を大切に
にした指導の充実

伊勢崎学校教育構想2024

ふるさと伊勢崎の伝統文化歴史に立脚したグローバルな
広い視野と高い志をもち、よりよい未来を創り出す子供

3つの伊勢崎教育プラン

- ①豊かな心育成プラン
- ②確かな学力向上プラン
- ③みんなの未来創造プラン

◇ 目標達成のための施策 ◇

- ①・よりよい授業にするために心がける宮郷小6つのポイントの実践
 - ・一人一人を大切に、学級活動における話し合い活動の充実
 - ・児童が主体的に活動したいと思える場面を意図的に設定した授業づくり
 - ・ICTの有効活用を通して学力向上を目指すための授業改善
- ②・感染症対策を踏まえた上で、計画する全ての教育活動の実施を目指す
 - ・一人一人の活躍の場を保障した学級活動、学校行事の推進
 - ・児童の体力低下傾向に対応した運動機会確保の取組の推進
 - ・感染症予防など自ら健康に対する意識の定着
- ③・いせさきGIGAALスクール構想を踏まえた、個別最適な学びと協働的な学びの実現
 - ・デジタルデバイスの活用による校務の効率化の推進 小中共通アプリtotoruの導入
 - ・ICTリテラシー、学びの個別最適化と基本の定着に向けたAI学習ドリルの導入
 - ・情報モラル教育の充実
- ④・いじめを生まない学級風土づくりと法に基づいた対応の推進
 - ・集団指導と個別指導の相互作用を生かした指導の充実
 - ・学級集団を基盤とした互いに認め合い高め合う温かい絆の醸成
 - ・なかよしアンケートなど、積極的な生徒指導の推進

健康・生活スキルの向上

- ・いせさき未来力向上スキルの活用
- ・安心安全を大切に教育活動を推進し、感染症の対策と活動の両立

子どもの読書活動への支援

- ・本に親しむ児童の育成を図るための学校図書館の蔵書や展示方法を工夫
- ・保護者に図書ボランティアを要請

9年間を見通したキャリア教育の推進

- ・キャリアパスポートの活用を推進
- ・デジタルデバイスの活用を推進
- ・いせさき教育アンバサダーの活用

生活・交通・災害安全教育の充実

- ・主体的に身を守る能力を身に付ける
- ・宮郷幼小中で連携し、実効性ある防災教育を推進

人権教育の推進

- ・すべての教育活動を通して、児童一人一人の良さや努力を認め、自分らしさを表現できる雰囲気を醸成する

主体的に生きる児童の育成を目指す指導方法の改善

地域に根ざした安心・安全な学校づくり

特別支援教育

- ・指導計画・支援計画に基づいた支援と特別支援教育コーディネーターを中心とした支援体制の充実

教職員の服務規律の確保

- ・信頼される学校づくり
- ・教職員一人一人が服務規律確保に向けた自己点検及び評価、研修の実施

教職員の資質向上

- ・一人一人の学びを最大限に引き出し、主体的な学びを支援できる教員の育成
- ・学力向上、ICT活用に着目した校内研修

地域とつながる人づくり

- ・地域の教育力を最大限に活用し、地域住民との交流や体験活動の充実
- ・公民館との連携・幼小中の連携推進

学校課題の解決につながる学校評価

- ・デジタルデバイスを有効活用し保護者と学校両者の利便性の向上
- ・提言R6 働き方改革の推進